



令和6年3月15日  
小田原市立報徳幼稚園  
園長 岩田 京子

## ほし組さん 卒園おめでとうございます！

温かい日ざしに、園庭の花が輝いて見えるようになり、子どもたちの成長を喜んでいるかのようです。

4月、黄色い色帽子を嬉しそうにかぶっていたほし組さん。今では、頼もしさと共に就学に向けた準備ができていることを感じる今日この頃です。

子どもたちが沢山の思い出を胸に、令和5年度卒園式を迎えることができるのも、保護者の皆様の温かいご理解とご協力のおかげと、職員一同、感謝しております。ありがとうございました。

### 【たくさん遊んだね！】

第3学期、ばら組さんたちが、2階に製作道具を持って、「一緒に遊ぼう！」とやってきました。そこから毎日一緒に製作をし、遊びがどんどん広がっていきました。遊びができあがると、互いの遊びを行きかう姿も多く見られるようになり、子どもたちから、「家の人にも遊んでほしいな。」「小さい友達も招待したい。」と、自分たちがつくり上げた、自慢の遊びを経験してほしいという気持ちをもつようになりました。そして、家の人と小さな友達を招待する日を決め、ワクワクドキドキの日々は続きました。

#### 恐竜



「体の色は1色じゃないんだよ。」と図鑑を見ながらこだわって色を塗っていました。



「これ乗れるんだよ！」



「出発するよ。しっかりつかまってね。」小さいお友達を乗せ、ゆっくり優しく押します。

#### バス



「バスの階段ってどうなっているんだろう？」一生懸命考えながらつくりします。



「出発進行！」「エイエイオー！」できあがったバスに乗り出発です。「でも、バス停がないよ？」「じゃあ、今度はバス停をつくろう。」



「お母さんたちを乗せて出発！」満員御礼です。

## お化け屋敷



いつもリアクションが違い、とっても怖いお化けたちです。



衣装にもこだわりました。



お化け屋敷の中は真っ暗！怖さも100倍

## 海賊船



生活発表会のときに使った海賊船をリニューアル。たくさん乗れるように、使わないものは片付けよう。



魚が釣れるところまで、海賊船を運転していきます。



年少さんたちも、海賊船に乗せてもらいました。

## アイドル



「チケットはこちらです。最後まで見てくださいね。」



「お客さんがたくさんいたから、少し、緊張しちゃった！」



小さな友達に衣装を着せてあげ、一緒にダンス。「楽しかった〜！」って、とっても喜んでいました。

## 【城北中学校3年生 との交流】

城北中学校の3年生が手作りおもちゃをつくってくれ、一緒に遊ぶことができました。大きな段ボールハウス、魚釣り、ボーリング等、グループに分かれ、教室や体育館で、交流を楽しんでいた子どもたちでした。



### 【年長から年少へバトンタッチ】

2月後半、ソッチーの世話をするウサギ当番を年少さんたちに引き継ぎました。掃除の仕方を細かく丁寧に知らせている姿は、『ソッチーのことを頼んだよ!』という気持ちが込められているように思いました。

ソッチーのお世話、ありがとう♥



また、年少組と一緒にいった“挨拶当番”でも、「年少さんが初めての当番だから頼むね。」と声を掛けると、大きくうなずき、一生懸命、気持ちを合わせて挨拶をする姿が見られました。小さな背中に緊張感が感じられましたが、当番が終わったときの顔は、やり遂げた満足感でいっぱいでした。挨拶は、人と人をつなぐ大切なツールの一つです。その場に合ったいろいろな挨拶が自然に言える子どもたちであってほしいです。

### 【小学校生活に向けて】

2月5日(月)、交通安全教室が行なわれました。今回は、就学前交通安全教室ということで、年長児を対象に行いました。室内の講話では、久しぶりの“カッピー”の登場。一番喜んだのは、先生たちかもしれません。カッピーと一緒に、「止まって、手を上げ、右見る、左見る・・・」と、声を出しながら横断歩道の渡り方の練習。講話の後には、通学路を1人で歩くことを想定した道路の歩き方を教えていただきました。子どもの視野は、大人が思っているよりも狭いようで、“見ていない”のではなく、“見えていない”ことも多いようです。小学校に就学する前に、通学路の中で危険な場所はどこか、どのように歩いたら安全か、お子さんと一緒に歩きながら、知らせてあげてください。繰り返すことで、身に付いていくと思います。まだ、言葉だけでなく、経験をすることでより確実に身に付く年齢です。“自分の身は自分で守れる”力を付けてあげてください。



### 【お別れ散歩】

3月7日(木)に、年少、年長一緒に尊徳記念館までお別れ散歩に行きました。散歩の途中、早咲きの桜や水仙を見ることができたり、小川の中を覗き込んだり、報徳の自然を楽しむことができました。小田急線の電車からは運転手さんが手を振ってくれて、大喜びの子どもたちでした。尊徳記念館では、生家に入り、昔使っていたものを見ることができました。広い部屋を見ながら、「ベッドはどこにあるの?」「テレビがない!」と不思議がる姿もありました。記念写真を撮った後、園に戻り、園庭でお弁当とお楽しみのお菓子を食べました。年長と年少と一緒に、遠足気分を味わいながら、楽しいひとときを過ごしました。

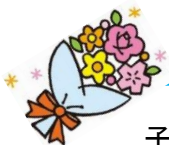


♪ いつの間にか ぼくたちは 1人であるいてきたよ～

6年前に この世に生まれて 小さなこの命 ♪

私の好きな歌です。卒園を迎える日が近付いてくると、いつの間にか口ずさんでいます。

2年前、幼稚園に送り出すに当たり、『楽しく遊んでいるかしら？』『泣いていないかしら？』『先生の話は聞いているかしら？』と、心配されたこともあったと思います。4月からの小学校生活に当たっても、幼稚園とは違った心配や不安があると思います。しかし、いつの間にか1人で歩いていた子どもたちは、2年間の幼稚園生活の中で、集団生活の過ごし方、友達との関わり方などを学び、自分の力にしてきました。その力を土台に、小学校でも更に大きく成長していくと思います。でも、新しい生活に慣れるまでは、心も体も疲れやすくなるので、お子さんの様子を見守り、癒してあげてください。“じっくり、ゆっくり、ゆったり”親子共に楽しんでください。



子どもたちの成長を感じながら、令和5年度の終わりを迎えることができますのも、大勢の皆様のおかげとっております。温かいご支援とご協力に、心から感謝いたします。ありがとうございました。

